

環境のあゆみ 2010

ダイジェスト

P 1. 「ダイジェスト」「環境のあゆみ 2010 報告にあたり」

P 2. 「会社概要」「事業所一覧」

P 3. 「経営者ご挨拶」「経営理念と環境方針」

P 4. 「環境マネジメントシステムの概要と運用状況」

メロディアン環境マネジメントシステム運用組織図と内部環境監査指摘件数のグラフを掲載しています。
組織図には ISO14001 認証取得組織と認証取得外組織を色分けして識別しています。
内部環境監査指摘件数は EMS 構築当初は多かった指摘件数が、徐々に減少してきています。

P 5. 「環境目的・環境目標の達成状況」

2009 年度(2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日)の環境目標への取り組みに対する達成状況を顔のイラストマークで評価結果と、その結果に対する解説を掲載しています。

P 6. 「三重工場の廃棄物処理状況」

三重工場から排出される廃棄物の主だった経路を図で示しています。また、三重工場の生産工程で発生する中身入りボーションの破碎分別工程のフローを写真付きで紹介しています。

P 7. 「GHG(温室効果ガス)排出量の推移(2007 年～2009 年)」

過去 3 年間の GHG 排出量の推移グラフや社用車の車種別保有台数の推移グラフを掲載しています。
全社で使用する社用車の使用に伴って消費されるガソリン使用量は、2007 年度に対して 2009 年度は約 12%の改善が図られました。また、電力消費量も全事業所で同期間の比較では約 14%を超える節電を実現しています。

P 7. 「高山植物保護活動の支援」

1992 年(平成 4 年)の日本高山植物保護協会へ法人会員として入会以来、メロディアンは高山植物保護活動を通じて環境保全活動に対する啓蒙活動を継続してきました。2009 年度は年初に計画されていた活動が、新型インフルエンザの大流行によって、その多くが中止となる中で唯一開催された春の観察山行に関する記事並びに観察写真を掲載しています。

P 8～P 10. 「環境保全活動」

「排水処理の管理状況(三重工場)」P 8

三重工場の排水処理設備から河川へ放流される処理水の管理状況について、毎月の測定結果を掲載しています。

「容器包装リサイクル法への取り組み」P 8

同法規制に従って、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会との再商品化委託契約を結んで再資源化の委託を行っています。この委託に伴う委託申請額の推移グラフを掲載しています。

「クリーンウォーキング継続中」P 9

1993 年(平成 5 年)にメロディアン本社社屋周辺のゴミ拾いから始まったクリーンウォーキングの活動について、2009 年度の実施状況をクリーンウォーキングのスナップ写真と共に紹介しています。

「ライトダウンキャンペーン 2009 に参加」P 10

2005 年度より参加してきた「チーム・マイナス 6%」の活動の一つである「ライトダウンキャンペーン」に今回初めて参加しました。その時の様子を写真で紹介しています。

『環境のあゆみ 2010』報告にあたり

この環境レポート「環境のあゆみ」は、環境保全活動の報告を主な目的とし、2002 年度(平成 14 年度)より一般の方々へ公開しております。また、紙資源保護を目的に Web での公開を基本とし、冊子による配布を最小限に抑えておりますのでご理解いただきたく存じます。冊子ご希望の場合は当社ホームページよりダウンロードしてご利用ください。また、作成単位を極小化するために社内作成しておりますので、印刷インクや用紙など素材面での対応が十分出来かねている現状ではございますが、重ねてご理解いただきたく存じます。

今回の「環境のあゆみ 2010」の報告対象期間は 2009 年度(2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日)の活動内容と結果を基本としておりますが、一部報告には 2010 年度の計画を含んでいます。

対象範囲はメロディアン株式会社(全事業所)と株式会社メロディアンメンテの環境保全活動です。

昨年 6 月発行の「環境のあゆみ 2009」に対する貴重なご意見・ご感想をお寄せ頂きありがとうございました。

読者の皆様の貴重な声を今後も環境保全活動と報告書作成に活用させて頂きたく、今回も簡単なアンケートをご用意いたしましたので、忌憚のないご意見、ご感想をお寄せ下さい。



(次回発行時期: 2011 年 春、発行担当: 環境対策委員会 事務局)

会社概要

創 業 昭和33年12月6日
 設 立 昭和36年9月20日
 資 本 金 9,850万円
 従業員数 268名(2010年4月1日現在/関連会社を含む)
 事業内容 コーヒーフレッシュ、シロップ、美と健康飲料、
 およびデザート等の食品製造販売
 関連会社 株式会社メロディアンメンテ、
 株式会社メロディアンハーモニーファイン

沿革

昭和33年12月	大阪府八尾市に日興乳業創業
昭和36年 9月	日興乳業株式会社を資本金100万円で法人設立
昭和49年 9月	資本金2,000万円に増資
昭和54年 5月	東京営業所開設(現:東日本事業所)
昭和55年 6月	広島営業所・福岡営業所(現:九州営業所)開設
昭和61年11月	三重上野工場建設 敷地面積1万坪40億円投資
平成 元年 3月	高松営業所開設(現:四国営業所)
6月	メロディアン株式会社に社名変更
平成 2年 4月	国際花と緑の博覧会「MELODIAN LAND」出展
平成 3年 1月	環境対策委員会を発足
平成 4年 4月	『環境対策委員会のあゆみ』(現:環境のあゆみ)を発刊
10月	株式会社メロディアンメンテ設立
11月	『日本高山植物保護協会(JAFPA)』へ法人入会と関西支部設立に協力
12月	資本金9,800万円に増資
平成 5年 3月	高山植物保護キャンペーン『高山植物いろいろプレゼント』を実施 社用車のディーゼルエンジン車からガソリンエンジン車への全面切替を決定(NOx対策)
平成 6年 6月	三重上野工場排水処理設備の増設
平成 7年 5月	当社社員より『日本高山植物保護協会(JAFPA)』の理事へ就任
平成 8年 5月	三重上野工場へ高温度焼却炉を設置(ダイオキシン対策)
平成10年 3月	社用車のガソリンエンジン車輦への全面切替完了と低公害車導入の決定
12月	三重上野工場がISO9002の認証を取得
平成12年 1月	ISO14001を全社一斉認証取得
平成13年 4月	近畿事業所・名古屋営業所(現:中部営業所)開設
10月	認証取得範囲を企画開発部門まで拡大しISO9001へ更新
11月	三重上野工場の焼却炉運転の全面停止(平成14年3月撤去)
平成14年 1月	三重上野工場から埋め立て処分場へ直接排出される廃棄物の撲滅達成
2月	三重上野工場排水処理施設へ膜濾過設備を導入
12月	三重上野工場にてHACCP認証取得
平成16年 4月	岡山営業所開設
11月	三重上野工場を三重工場へ名称変更(市町村合併に伴う変更)
平成17年 1月	社用車へハイブリッド車の導入を開始
11月	株式会社メロディアンハーモニーファイン設立
平成18年 4月	四国営業所を岡山営業所へ統合し中四国営業所を開設
平成19年 3月	三重工場へ中身入ポーション破砕分別設備を導入
10月	研究所開設
平成20年 4月	ISO14001 認証取得範囲から営業部、特販部、開発営業部を除外し、当社環境マネジメントシステムの準適用組織とした
平成21年 4月	広島営業所を中四国営業所へ統合



事業所一覧

本 社	〒581-0833 大阪府八尾市旭ヶ丘 1-33	TEL : 072-999-3250 (代表)
研 究 所	〒581-0869 大阪府八尾市桜ヶ丘 2-128-1	TEL : 072-924-3215 (代表)
東日本事業所	〒151-0053 東京都渋谷区代々木 4-29-4 (西新宿ミノシマビル3F)	TEL : 03-5371-3637 (代表)
近 畿 事 業 所	〒532-0003 大阪市淀川区宮原 5-1-18 (新大阪サンアールセンタービル10F)	TEL : 06-6150-3277 (代表)
中 部 営 業 所	〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-2-7 (丸森パークビル5F)	TEL : 052-587-5150
中四国営業所	〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井 1-1-3 (日本生命岡山第2ビル6階)	TEL : 086-235-3826
九 州 営 業 所	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 1-5-18 (サウス・ワン1F)	TEL : 092-474-4227
三 重 工 場	〒518-1151 三重県伊賀市白檜 2816-6	TEL : 0595-20-2000 (代表)

ご挨拶

私たちメロディアングループは昭和33年に牛乳会社として創業して以来、豊かな食文化の創造を目指し、「美と健康」、「おいしさはしあわせ」をテーマに無菌充填包装技術を活かしたコーヒーフレッシュ、ーションシロップそして飲料などロングライフ商品を中心とした商品開発、製造販売を実施して参りました。また2年前よりこの無菌充填包装技術を活用した化粧品事業にも取り組んでおります。

環境面では平成3年の1月より発足しております環境対策委員会を中心に「環境と経営の一体化」を目指し、環境への負荷低減が経営での効率化に繋がるという信念のもと、省エネ活動、効率化生産体制への取り組みなどを実施しております。また17年続けて参りました高山植物保護活動も引き続き実施して参ります。今後も企業の使命として環境に配慮し、甚だ微力ではございますが、出来る事を着実に実施して参りたいと考えております。

今後も豊かな食文化の創造を目指し、当社の社是であります「信頼される人間、信頼される商品、信頼される企業」を基本に企業活動を実施していきたいと考えております。引き続き御指導、御支援、何卒宜しくお願い申し上げます。



2010年6月 代表取締役 社長 中西 優紀雄

経営理念と環境方針

【経営理念】

—— 社 是 ——

1. 信 頼 さ れ る 人 間 に な ろ う 。
1. 信 頼 さ れ る 商 品 を 作 ろ う 。
1. 信 頼 さ れ る 企 業 に な ろ う 。

—— 基本方針 ——

当社は、豊かな食文化の創造をめざし、真実と信頼の経営を展開して、顧客、取引先ならびに社員の繁栄と幸福に最大限寄与することにより、以下の5項目を基本方針とします。

- 一、信頼される商品の提供、および誠実かつ積極的な社員の人間形成を通して、企業の信頼性を向上させます。
- 一、市場環境の変化に対応した着実な規模の拡大と、経営管理システムを強化・徹底して、収益構造を強化します。
- 一、顧客第一主義にもとづいた、『おいしさはしあわせ』『美と健康』をテーマに創造性豊かな新製品の開発を目指すとともに新市場開拓をより一層推進します。
- 一、法令遵守を基本に、環境保全にも積極的に取り組み、広く社会や顧客に支持される企業づくりを目指します。
- 一、働き甲斐の創造につながる、明朗かつ風通しのよい職場環境づくりを推進します。

環境方針

1. 基本理念

当社は、高山植物保護活動をはじめとして、地球環境の保全に積極的に取り組み、社会や顧客から支持される企業作りを目指し、「物を大切に」「資源を大切に」「自然を大切に」を基本に、環境負荷の低減を図ります。

2. 基本方針

- 1) ISO14001に基づく環境管理システムの構築を行い、外部取引先様と共に環境保全活動を推進し、環境汚染の防止と環境負荷低減の継続的改善を図ります。
- 2) 環境関連の法規制、地域との協定などの順守と、これらの管理基準を整備し、管理状態の維持・向上を図ります。
- 3) 環境保全活動の目的・目標を定め、これを定期的に見直すと共に、その達成を図ります。
- 4) 無駄の排除・抑制及びリサイクルなどによる、資源の有効活用を図ります。
- 5) 電力・燃料など、エネルギーの効率的利用を推進し地球温暖化防止を図ります。
- 6) 従業員への教育、社内広報活動などを実施し、全ての従業員に対して、環境方針の周知及び環境に関する意識の向上を図ります。
- 7) この環境方針を社外へも公開し、達成を図ります。

平成21年4月1日
メロディアン株式会社
株式会社メロディアンメンテ
代表取締役社長 中西 優紀雄

環境マネジメントシステムの概要と運用状況

社長が責任者(環境管理責任者が副責任者)として経営会議を毎月1回開催しています。

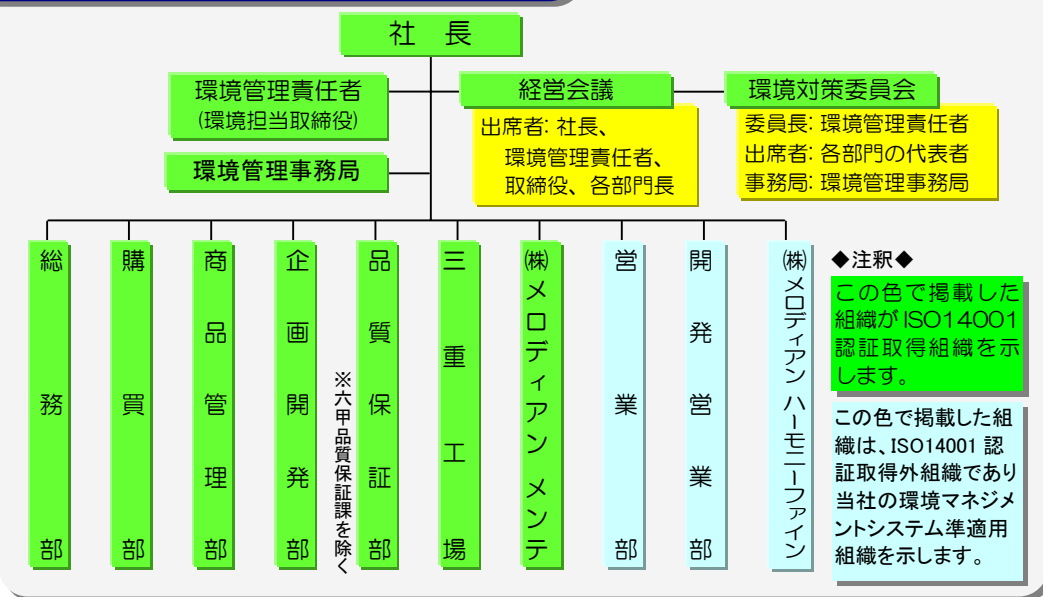
この会議には、各部門の責任者である部長をはじめ各部門の担当取締役も参加して年度目標の達成状況の確認や、必要に応じて環境情報の共有化を図ると共に、環境保全に関する重要事項の審議と決定を行っています。

また、経営会議の直下には環境管理責任者が委員長をつとめる環境対策委員会を設置し、経営会議へ上申するための実務レベルの協議ならびに内部監査のための打合せの他、この「環境のあゆみ」編集方針の打合せなども実施しています。

当社は2000年(平成12年)1月に環境マネジメントシステムの国際規格 ISO14001 (JISQ14001)を全社全事業所一括で認証取得いたしました。(現在の認証取得範囲は「環境マネジメントシステム組織図」をご参照下さい。)

この認証取得以来、毎年1回以上の内部環境監査と外部の第三者審査機関による定期審査を実施し、徐々にではありますが環境マネジメントシステムの維持向上に努めて参りました。

環境マネジメントシステム組織図

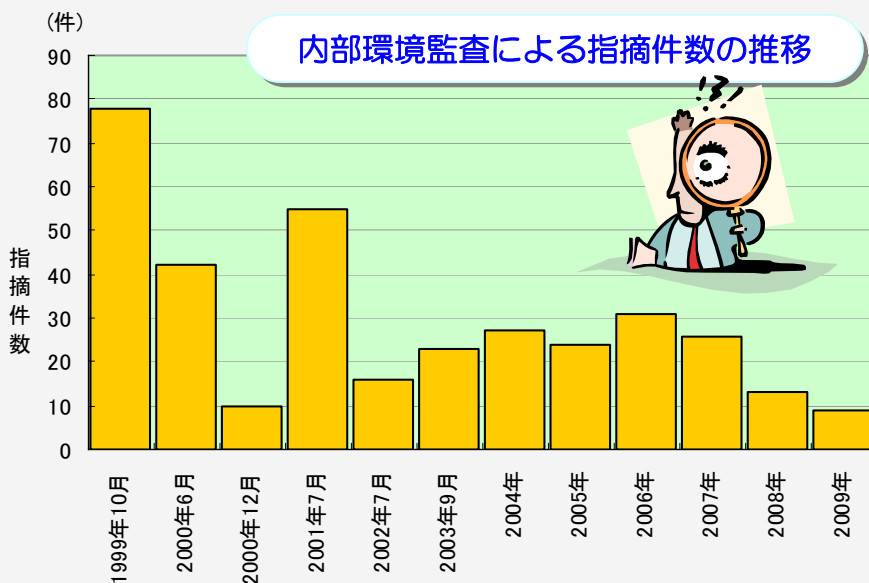


2009年度も、社内の資格認定基準を満たした内部環境監査員により全社の適用範囲を対象に内部監査を実施した結果、内部監査員から不適合として計9件の指摘が行われ「是正要求書」が発行されています。これらの指摘事項については全て該当部署による是正処置が実施され、内部監査員による確認が完了しています。

また、外部審査機関による定期審査では、不適合には至らないものの放置すると不適合に至る可能性がある事項として、計3件の指摘をいただきましたので、現状の環境マネジメントシステムを改善できる機会と捉えて、各関連部署を中心に必要を見直しを実施しています。

内部監査による相互啓発を継続するために、2009年度は内部環境監査員養成のための社内研修会を開催し、新たに7名の内部監査員を養成し資格認定しています。

内部監査員の視点や考え方を習得した従業員を増やすことで、日常の気付きや、小さな問題に対する改善や是正の確実さにも好影響が出てくることを期待して、内部監査員教育にも注力しています。



環境目的・目標の達成状況

2009年度（2009年4月1日～2010年3月31日）の環境目標への取り組みに対する達成状況は下表の通りです。

【取り組み結果の評価マーク】

目標達成

ほぼ達成

もう少し

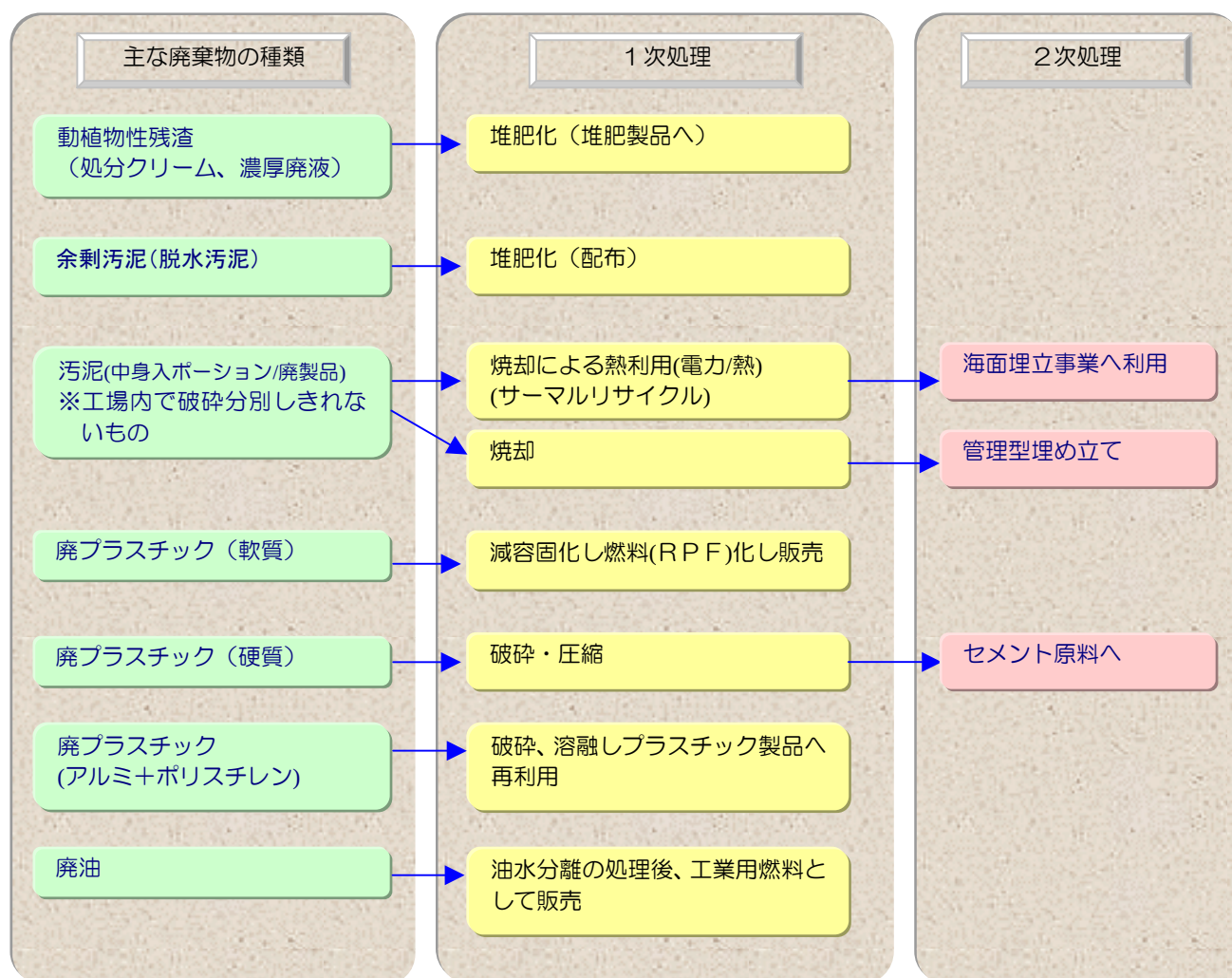


環境目的	2009年度の目標	結果評価	解説
環境と経営の一体化	事務購入品抑制 2S（整理・整頓）の推進		各自のデスク周りの2Sからスタートした取り組みで、年度当初に立てた計画に沿って、概ね目標を達成することができました。
	三重工場の省エネルギー原単位1%低減		三重工場の生産量に対するエネルギー使用量を、前年対比で約14%改善することができました。
	販促物のグリーン購入アイテム比率を70%にする。		年間のグリーン購入アイテム比率は79%に到達し目標を達成できました。今後も引き続き継続して取り組みます。
	商品さばきサンプルの発生を前年実績より低減する。		日付が古くなり正規価格で販売できなくなってしまう商品（=商品さばきサンプル）の発生を前年対比で5%下げることができました。
	包装材料、原材料廃棄の発生を前年実績より低減する		商品のモデルチェンジなどで生じる包装材料や原材料の廃棄を前年対比で半減することができました。
品質の向上・安定化を通じた環境保全活動の推進	外注支給原材料クレーム件数を前年対比45%低減。		外注支給原材料クレームの発生件数を前年対比で67%低減することができました。
	配送クレームの低減 （目標：発生率0.53%以下）		残念ながら、目標を達成することができませんでした。来期は改善できるよう見直しを図ります。
	重大クレーム件数0件		消費者の皆様へ届く前に対応できたものの、自主基準で重大と規定したクレームが発生するという残念な結果になりました。
	重大不適合件数0件		前年対比では大きく低減できましたが、目標としていた0件には及びませんでした。
	クレーム件数10%低減 （配送クレームを除く）		クレーム件数は達成率127%と目標をクリアすることができました。
	不適合件数10%低減		工程内で発見される不適合は、前年対比で15.7%の削減が出来ましたが、目標達成には及びませんでした。



三重工場の廃棄物処理状況

三重工場から排出される廃棄物を次のような流れで、資源の有効利用に配慮した処理に努めています。



三重工場では、生産中の品種切り替え時や包装材料の継ぎ目などで発生する中身入ポーションを、できるだけ分別し排出後の処理が資源の有効利用につながるよう、その多くの部分を敷地内で破碎・分別してから、それぞれの再生・再利用できる処理業者へ排出しています。



これら廃棄物処理の委託に際しては、担当部署により自社基準チェックリストに従って処理委託先様の評価や、現地視察などを行い、適正な処理を図るよう努めています。

GHG排出量の推移（2007年～2009年）

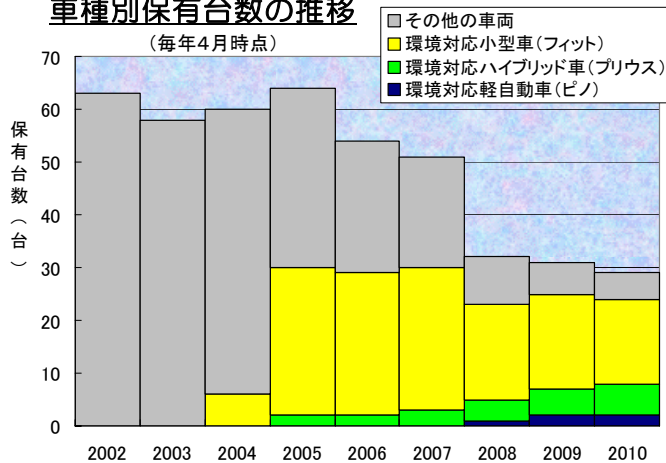
昨年、一昨年と事業活動に伴う温室効果ガス（GHG）の排出量を低減してきました。

このガス排出量には営業活動に使用する社用車からの排気ガスも含まれています。以前より社用車の効率的運用を図って保有台数を削減してきた成果として2007年度と2009年度では全社の年間ガソリン使用量を約12%低減することができ、車輛の更新時には使用用途に適したエコカーへの切り替えも実施していますので、台数削減との相乗効果によるCO₂排出量削減に貢献しています。

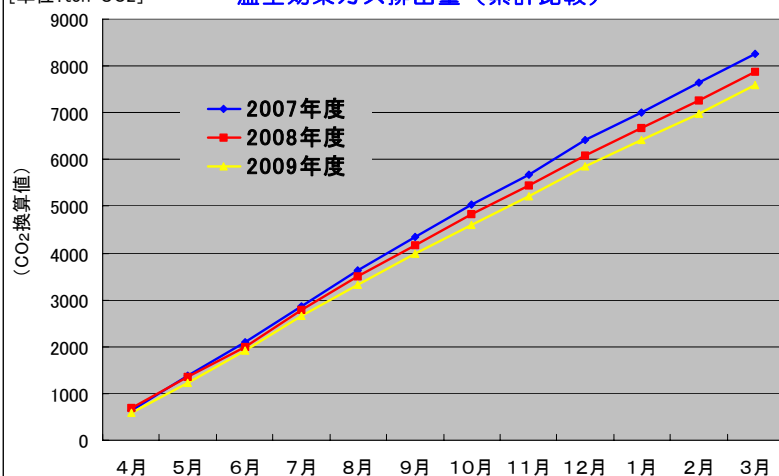
また、電力使用量についても、最大の使用事業所である三重工場をメインに各事業所で省エネに取り組んだ成果として、2007年度と2009年度では全事業所で約14%を超える節電を実現していることも好影響を与えています。

車種別保有台数の推移

（毎年4月時点）



温室効果ガス排出量（累計比較）



高山植物保護活動の支援

メロディアンは、特定非営利活動法人 日本高山植物保護協会（通称：JAFPA／ジャフパ）を応援しています。

特にメロディアン本社が関西圏にあることから、JAFPA関西支部設立のお手伝いも参加させていただいたご縁もあり、単に法人会員として入会し、経済的な支援にとどまるのではなく、入会当初から関西支部の幹事として社員を派遣させていただき、また従業員の多くも個人会員として参加させていただくなど、共に高山植物を通じて自然環境の大切さと環境保全への啓蒙活動に参加させていただいています。

2009年度は上期より新型インフルエンザの大流行による影響で、JAFPA関西支部主催の行事の多くが中止となり、例年のような活動が思うように開催できませんでした。

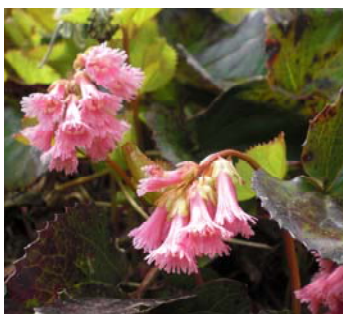
そのような中で、新型インフルエンザ流行前の2009年5月3日に唯一開催された春の観察山行の様子をご紹介します。

今回は、2008年度の春にも好評を得た琵琶湖の西に位置する今津の大御影山に通じる登山道の観察山行を実施し、この時期に登山道脇を主に彩る「イワカガミ」を写真に収めつつ、観察しながら足元のゴミを拾い集めます。今回は珍しい真っ白なイワカガミを観察することができました。

この登山道は、JAFPA関西支部幹事のお一人を含む地元の方々が、普段からパトロールなどを実施されているおかげで、ゴミが散乱したり歩道を外れて花の群生地を踏み荒らしたりという様子もなく、心地良い自然と向き合うことができます。



（イワカガミの群生）



（薄紅色のイワカガミ）

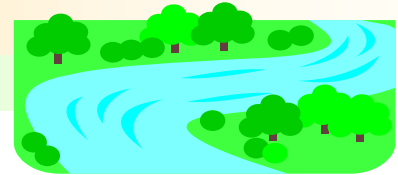


（白色のイワカガミ）

環境保全活動

排水処理の管理状況（三重工場）

三重工場の生産ラインから排出される排水の管理状況は昨年の報告以降も下表の通り関連する法規制の基準値を下回って問題なく推移しています。



単位：mg/L（但し、水素イオン濃度は単位なし、大腸菌群数は個/ml）

測定項目(基準値)	測定サンプル採取日(月/日)と測定結果											
	4/8	5/11	6/19	7/15	8/21	9/15	10/15	11/18	12/19	1/14	2/22	3/17
水素イオン濃度（5.8～8.6）	7.10	6.50	7.20	6.60	7.00	6.70	7.10	7.30	7.10	7.00	7.20	7.20
生物化学的酸素要求量（25 以下）＊	2.00	2.00	2.20	2.00	2.70	2.20	2.00	2.00	3.00	2.00	2.00	2.00
化学的酸素要求量（なし）	9.30	10.20	10.30	9.50	13.50	9.40	12.70	10.60	11.90	9.60	7.80	8.70
浮遊物質（90 以下）	2.50	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
ノルマルヘキサン抽出物質（30 以下）＊	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
全窒素（120 以下）	12.80	18.40	24.30	19.40	27.10	19.80	5.30	14.60	23.70	18.10	15.80	13.30
全リン（16 以下）	0.63	0.30	1.38	0.57	1.39	0.21	0.26	0.42	0.89	0.24	0.93	0.41
大腸菌群数(3000 以下) ＊	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)
鉄（10 以下）	1.40	1.50	1.30	1.30	1.80	1.50	2.30	1.80	2.20	1.80	1.50	1.90
マンガン（10 以下）＊	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
亜鉛（5 以下）	[年 1 回測定項目] 0.4（4 月 8 日採取）											
基準適合判定	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合	適合

【解説】基準値末尾に＊印の測定結果は測定限界値以下のため測定下限値を記載、但し大腸菌群数は陰性を示す(－)を記載

容器包装リサイクル法への取り組み

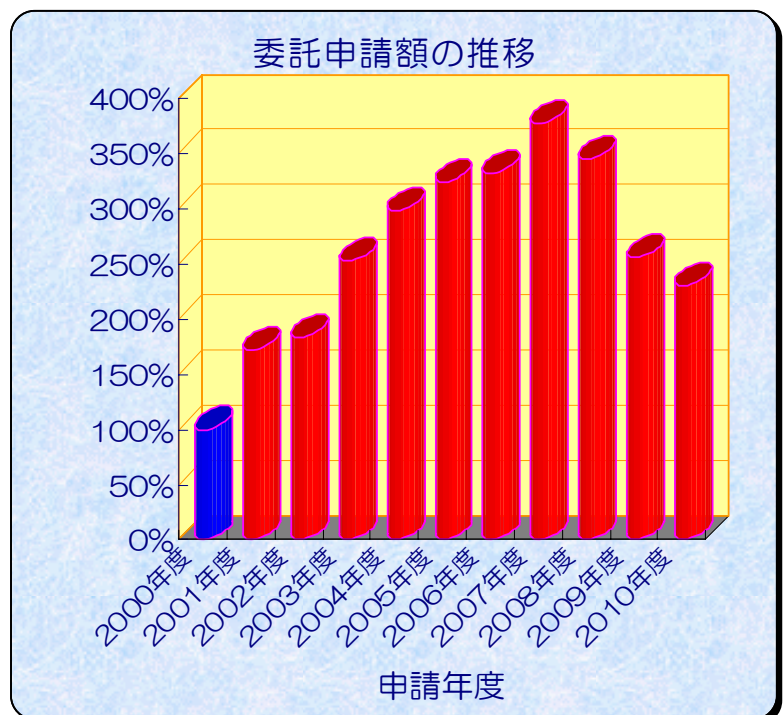
当社は、容器包装リサイクル法に定められた「特定容器利用事業者」として、法に定められた指定法人である「公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会」様と再商品化委託契約を締結し、当社が製造販売する食品の容器包装に係るリサイクルに関する委託を行っています。

その委託量は、毎年度の製造数量に基づいて算出しますが、2006年度の算定方式変更によって、委託数量の推移を単純比較できないため、この委託に伴う申請額の推移を公開指標として毎年掲載しています。

今回掲載には、2010年度の申請額まで掲載することができました。

初年度の 2000 年度の委託申請額を 100%としますと、今年度の申請額は 230%となります。

一時期は 300%をゆうに超える申請額でしたが、委託単価や算定係数の推移により、右のグラフの通り推移しています。



環境保全活動

メロディアンは1993(平成5)年7月に本社周辺のクリーンウォーキングを月例行事として開始し、同年10月には三重工場でも同じく月例行事として開始し、今では通年行事として毎月各事業所周辺のクリーンウォーキングを継続的に実施しています。

2009年度は全社で年間延べ540名を超える参加者で実施することができました。

特に三重工場では自動車専用道路(名阪国道/国道25号線)の側道に面しているため、毎月この側道沿いを中心にクリーンウォーキングを実施します。毎月集められる回収物の中には通行車輛からポイ捨てされたと思われるコンビニ袋に詰め込まれたゴミが多く見受けられ、中には煙草の吸殻が詰め込まれたペットボトルや空き缶など・・・大人のマナーの悪さを思い知らされ、悪臭に耐えつつ、その分別廃棄に取り組んでいます。

この三重工場だけでも今年度は55袋のゴミを回収することができました。(ゴミ袋1袋は一般の45Lサイズ)

Clean Walking

継続中です

本社でのクリーンウォーキング



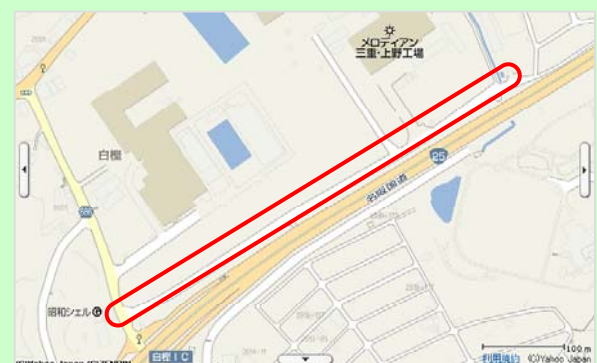
本社では、社屋周辺の道路や遊歩道を中心に、部署別に役割分担を決めて、毎月1回実施しています。



三重工場のクリーンウォーキング



三重工場では、工場南側に位置する名阪国道(R25)の側道に沿って毎月1回実施しています。



環境保全活動

ライトダウン キャンペーン 2009に参加!

メロディアンは、2005年度より「チーム・マイナス6%」に参加してきました。

その「チーム・マイナス6%」の取り組みの一つとして「ライトダウンキャンペーン2009」に参加し、6月21日(日)と7月7日(火)の両日で、本社及び三重工場の屋外看板灯の消灯を実施しました。

2010年からも「チャレンジ25」へ引き続き参加します。

過去に日本各地で行われた「ライトダウンキャンペーン」

東京タワー

Before



After



大阪城

Before



After



メロディアン 三重工場

※東京タワーと大阪城の写真はライトダウンキャンペーンHPより

ライトダウンキャンペーンとは・・・

環境省では2003年より地球温暖化防止のためライトアップ施設の消灯を呼び掛ける「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」を毎年夏至の日を中心として行われてきました。これはライトアップに馴れた日常生活の中、電気を消すことでいかに照明を使用しているかを実感し、地球温暖化問題について考えていただくことを目的としたキャンペーンです。

京都議定書第一約束期間の初年度であり、サミットイヤーでもあった2008年より、キャンペーン初日の6月21日に「ブラックイルミネーション2008」として、また最終日の7月7日のクールアース・デーには「セタライトダウン」として夜8時から10時までの2時間、全国のライトアップ施設等を一齐に消灯するライトダウンが実施されました。

ライトダウンキャンペーンHPより一部引用

Before



After



※看板消灯時も安全上の配慮から屋外通路照明は点灯しています。

